

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	がん患者におけるオピオイド導入時期についての調査
研究責任者	飯塚美有
研究実施体制	聖隷浜松病院薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023年3月31日
対象者	2010年1月から2021年6月までの間に聖隷浜松病院に通院または入院し、オピオイドを開始した患者様。
研究の意義・目的	<p>がん性疼痛のある患者の多くは、医療用麻薬(以下、オピオイド)を導入されています。医療用麻薬の不適切な使用による副作用や痛みの増強により入院する外来患者を減らすため、当院では、2019年7月より、緩和薬剤師外来を開始しました。現在は、呼吸器内科、消化器内科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の4診療科に限られていますが、その他の診療科でも緩和薬剤師外来の導入が必要な患者は多いです。</p> <p>人員確保の観点から、対象診療科を拡大することは難しく、対象診療科への追加は吟味が必要です。</p> <p>そこで、本研究では、がん種によるオピオイド導入割合や導入時期について調査し、今後の対象診療科拡大を行っていく際の一助とします。</p>
研究の方法	<p>対象となる患者様について、診療録から以下の項目の調査を行います。</p> <p>年齢、性別、身長、体重、BMI、体表面積、オピオイド初回処方日、オピオイドの種類、投与量、オピオイド導入時の状況(入院 or 外来)、診療科、がん種</p> <p>総蛋白、血清アルブミン、血清尿素窒素、血清クレアチニン、eGFR、尿酸、総ビリルビン、直接ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、γ-GTP、アミラーゼ、CK、血糖、HbA1c、CRP、Na、K、Cl、Ca、P、総コレステロール、LDL、中性脂肪</p> <p>白血球数、好中球数、リンパ球数、血小板数、赤血球数、ヘモグロビン、好酸球、好塩基球、単球</p>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)飯塚美有

